



転入者アンケート結果報告 《令和6年4月～令和7年3月》

企画政策部企画調整室

協力 経済環境部農政課
市民部市民年金課

サマリ

- 令和6年度に本市に転入した2人以上世帯に転入アンケートを実施。419世帯から回答を得られた。
- 世帯構成としては親子世帯が半分以上、年代としては40代以下の世帯が全体の8割弱を占め、子育て世帯に選ばれるまちとしての結果。
- 子どもの年齢でみると、6歳未満の未就学児の転入が6割を占める。また、11-12歳の中学就学前の転入が多いことも特徴の1つ。
- 転入元としては近畿地方が6割を占め、中でも近隣市町が多い。
- 転入理由としては、「職場や学校が近い」「住宅事情がよい」「交通の利便性」「実家の近所」「環境が良い」が上位にあがる。
年代別にみると30代以下が「実家の近所」を選択する傾向があることや、地域別にみると南部地域が「環境が良い」ことを転入理由として挙げるのが特徴的。
- 転入理由については、年代や地域によって差異があり、今後のまちづくり・人口施策の検討にあたっの示唆が得られた。

アンケート調査実施概要①

■調査目的

本市への転入世帯に転入理由等を調査し、総合計画・総合戦略等に基づくまちづくりに活用するもの

■調査概要

調査対象	世帯員2人以上の転入世帯
対象数	477世帯
回収数	419世帯
調査方法	窓口(市民年金課)での調査票の配布、回収(農政課)
調査期間	令和6年4月～令和7年3月

アンケート調査実施概要②

■ アンケート項目

項目	回答方法
転入先郵便番号	数字入力
大字	(郵便番号の入力から自動判定)
前居住都道府県	47都道府県、国外から選択
前居住市町村	自由記述
年代	選択 「～20代」、「30代」、「40代」、「50代」、「60代」、「70代～」
世帯構成	「親子」、「夫婦・パートナー」、「その他」
世帯構成がその他の場合入力	自由記述
こどもの年齢 ※最大5人まで	数字入力
選んだ理由 ※複数選択可、最大17個まで	選択 「1 職場や学校が近い」「2 電車やバス、道路などの交通利便性が良い」 「3 住宅の規模・価格など住宅事情が良い」「4 教育・保育施設が充実している」 「5 子育て支援サービスが充実している」「6 病院などの医療機関が充実している」 「7 高齢者や障がい者向けの福祉環境が充実している」「8 買い物など日常生活が便利」 「9 公園が利用しやすい」「10 自然、街並みなどの環境が良い」 「11 市内に働く場所が多くある」「12 交通安全や防犯面等治安が良い」 「13 地域コミュニティ・人のつながりが強い」 「14 文化活動が盛んである・支援が充実している」「15 以前住んでいた」 「16 実家の近所」「17 その他」

※年代については、令和6年9月以降に設定

※市内地域の定義は以下

北部：山手西、山手中央、山手南、山手東、松井ヶ丘、松井、花住坂、大住ヶ丘、大住

中部：薪、田辺、田辺中央、河原、東、甘南備台、草内、興戸

南部：飯岡、三山木、多々羅、普賢寺、水取、同志社山手、天王、打田、高船、宮津

アンケート結果①（世帯構成）

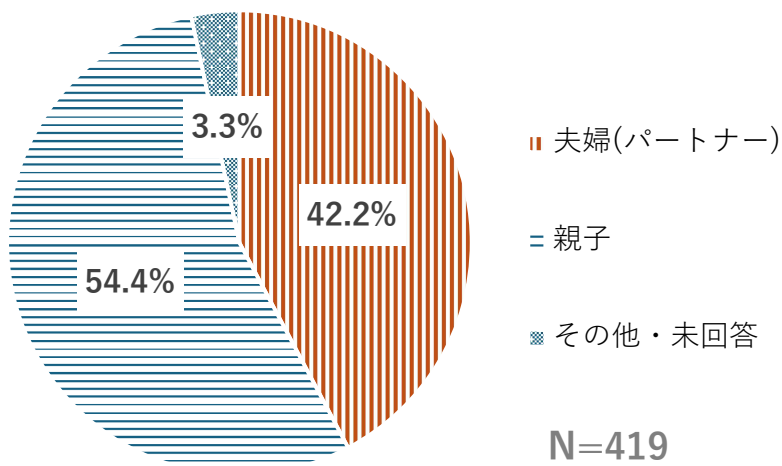
全回答者(419世帯)のうち、夫婦(パートナー)の世帯が42.2%(177世帯)、親子世帯が54.4%(228世帯)、その他・無回答が3.3%(14世帯)であった。

なお、令和6年9月以降に調査項目に世帯主の年代を追加。

9月以降の回答225世帯の内訳をみると

20代が27.6%、30代が35.6%、40代が16.4%と、子育て世代が8割弱を占める。

◆回答者の世帯構成割合



◆世帯主の年代別世帯数(R6.9-R7.3)

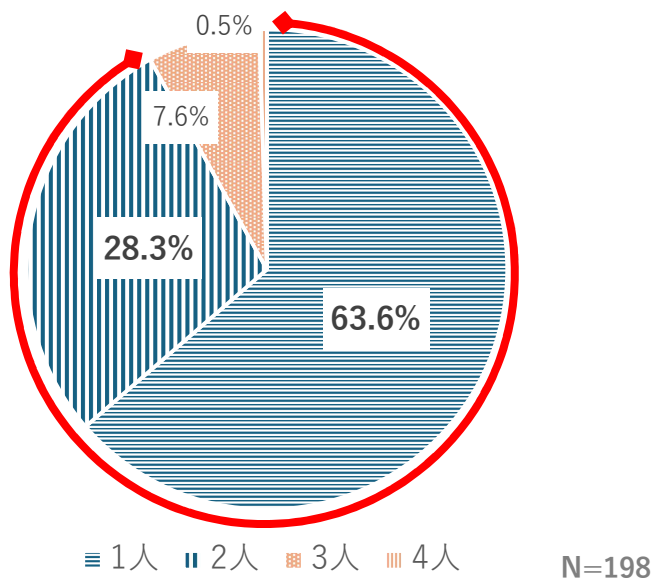
区分	世帯数	割合 (%)
～20代	6 2	27.6
30代	8 0	35.6
40代	3 7	16.4
50代	3 1	13.8
60代以上	1 3	5.7
未回答	2	0.9
計	2 2 5	100.0

79.6%

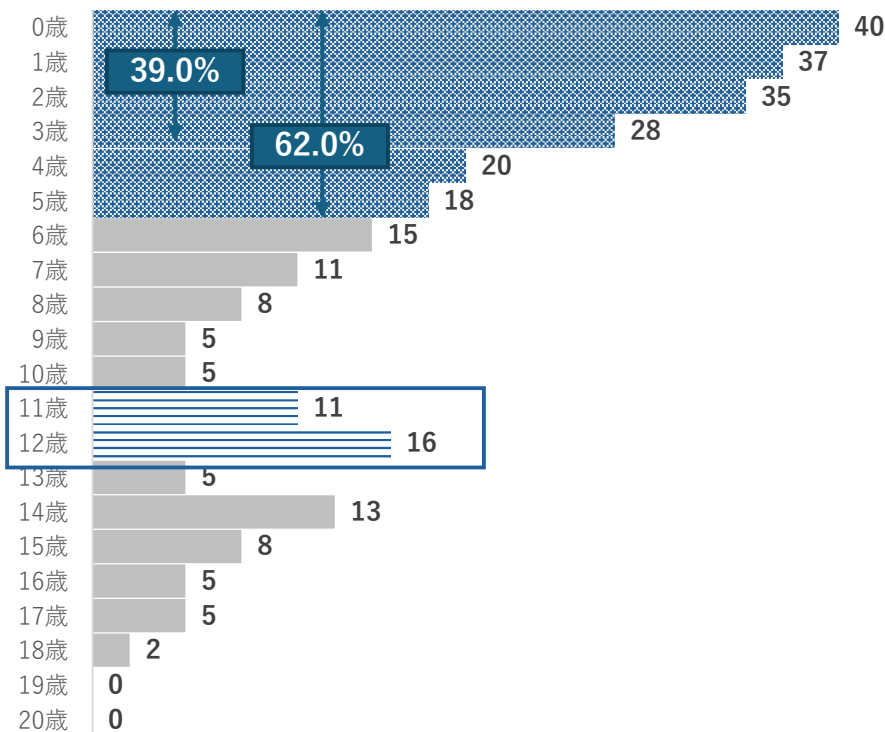
アンケート結果②（子どもがいる世帯）

こどもがいると回答した世帯のうち、子どもの数は1人～2人と回答した世帯が全体の91.9%を占める。
回答結果の子どもの転入数は287人で、年齢別でみると0～3歳が39.0%、就学前（～5歳）が62.0%。
また、中学進学前後となる11-12歳の転入も9.4%を占め、ほかの年齢に比べると高い傾向。

◆子どもがいると回答した世帯の子どもの数



◆子どもの年齢別転入者数



アンケート結果③（転入元）

近畿地方からの転入が全体の63.7%をしめ、
そのうち京都府が約6割と最も多く、次いで大阪府、奈良県と続く。

転入元市町村としては昨年同様、京都市からが最も多い。次いで枚方市、城陽市と続き、大都市を含め近隣市町からの転入が顕著である。

◆地方別転入元の割合

区分	世帯数	割合
北海道・東北地方	5	1.2
関東地方	18	4.3
中部地方	19	4.5
近畿地方	266	63.5
中国・四国地方	8	1.9
九州地方	11	2.6
海外	13	3.1
未回答	79	18.9
計	419	100.0

◆近畿地方の都道府県別転入元の割合

区分	世帯数	割合
京都府	153	57.5
大阪府	72	27.1
滋賀県	9	3.4
奈良県	17	6.4
兵庫県	15	5.6
和歌山県	0	0.0
計	266	100.0

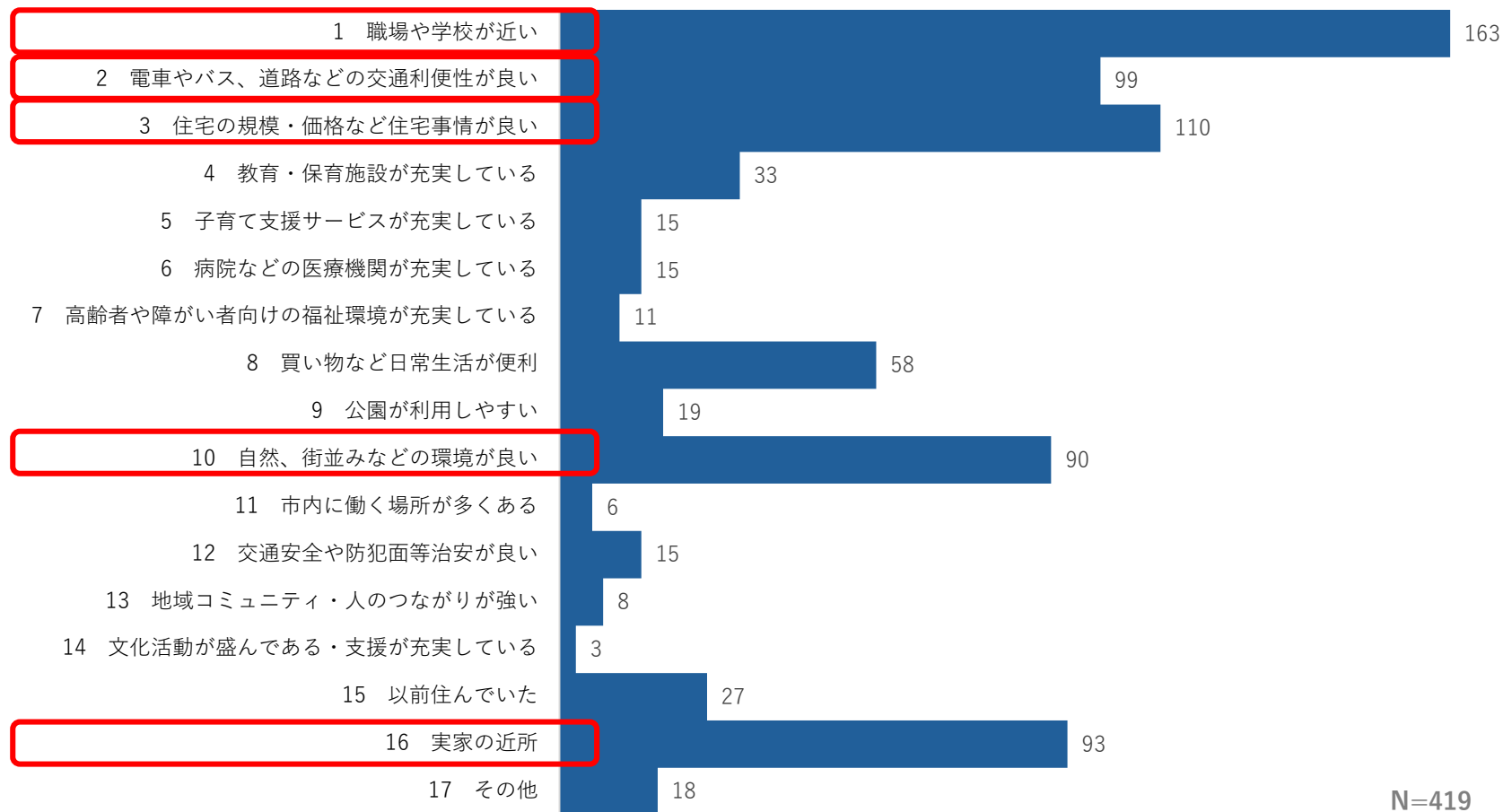
◆主な転入元市町村

区分	京都府 京都市	大阪府 枚方市	京都府 城陽市	京都府 宇治市	京都府 八幡市	大阪府 大阪市	奈良県 奈良市
世帯数	59	31	25	17	13	12	7

アンケート結果④（転入理由－全体）

本市への転入理由として「職場や学校が近い」「住宅事情がよい」「交通の利便性」「実家の近所」「環境が良い」をあげる世帯が多い。

◆転入理由（複数回答可）



アンケート結果⑤（転入理由一世帯構成別）

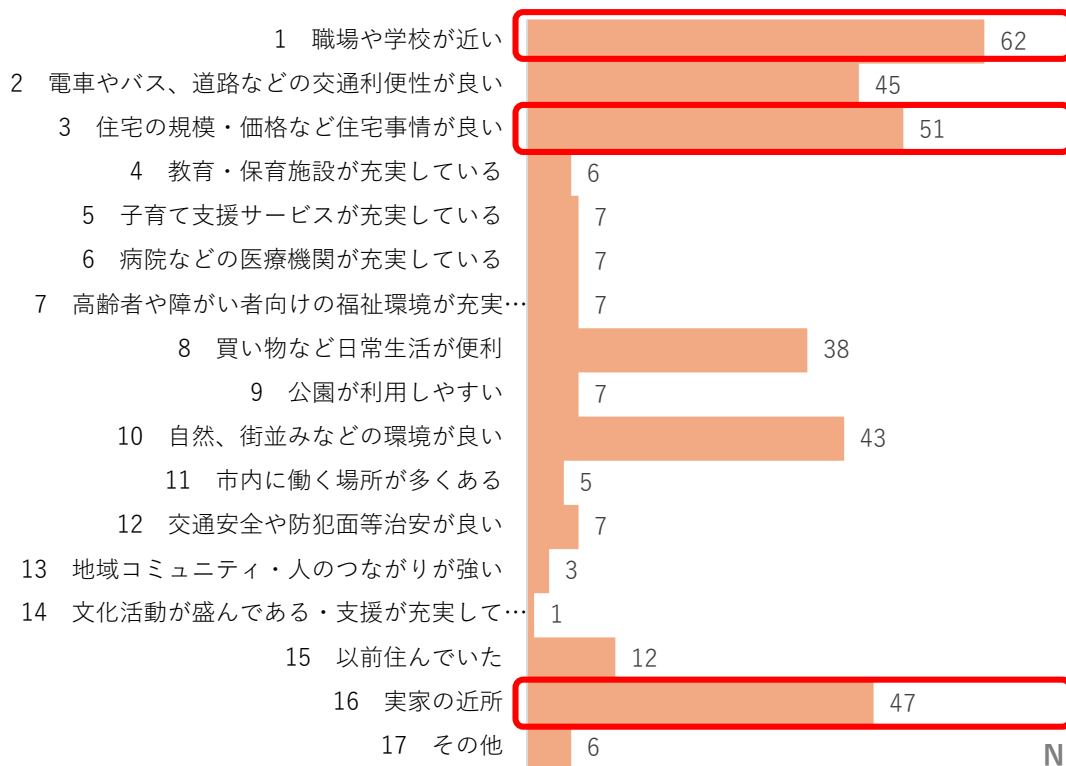
世帯構成別にみると全体で最上位にあがった「職場や学校が近い」が上位理由となっている点が共通した傾向。

夫婦・パートナーは、「住宅の規模・価格などの住宅事情が良い」「実家の近所」が上位にあがる。

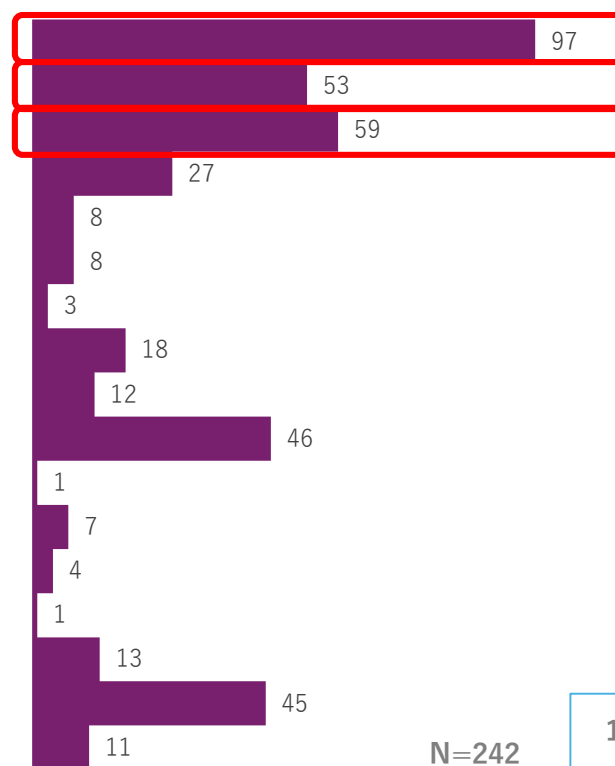
親子世帯は、「住宅の規模・価格などの住宅事情が良い」「交通の利便性が良い」があがる。

◆世帯構成別転入理由（複数回答可）

< 夫婦・パートナー >



< 親子 >



アンケート結果⑥（転入理由一年代別）

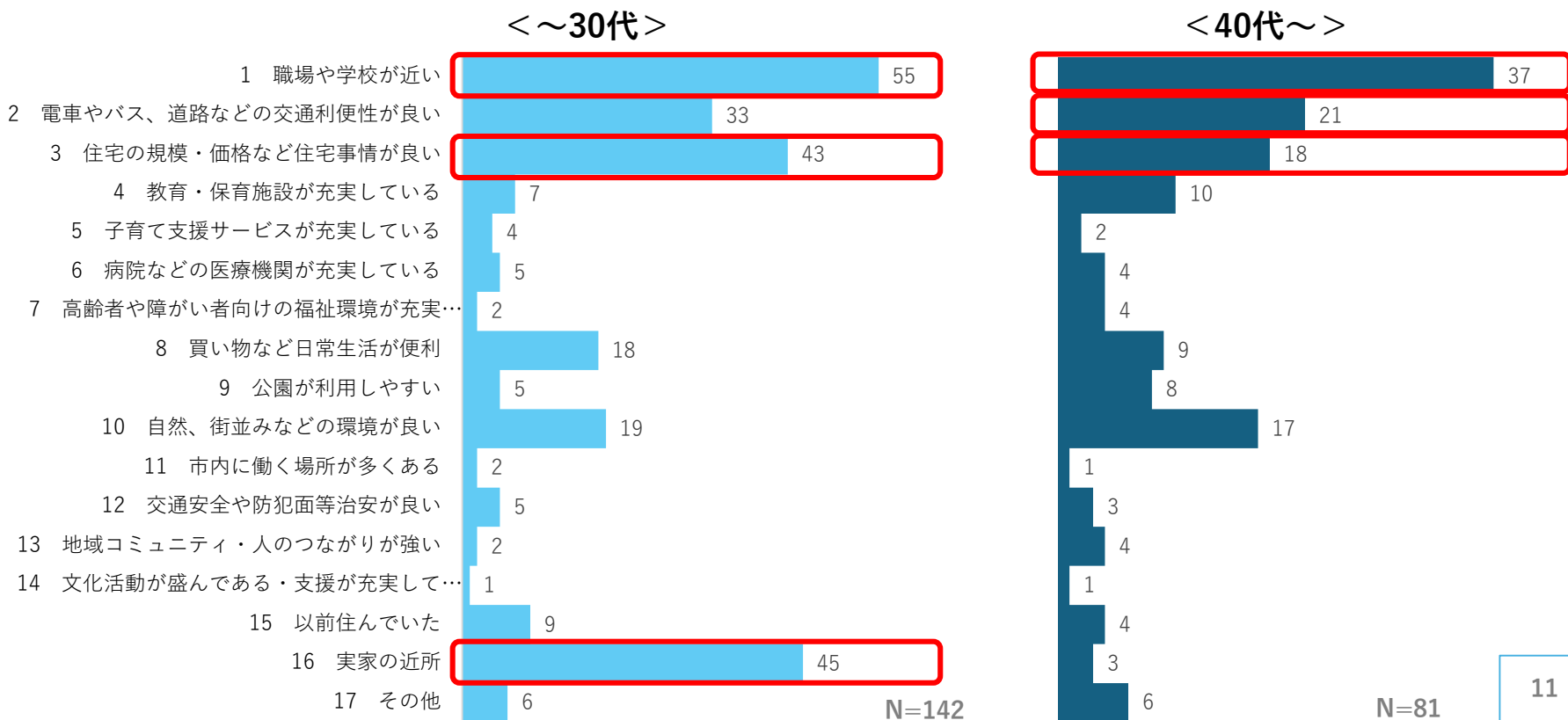
世帯構成別にみると全体で最上位にあがった「職場や学校が近い」が上位理由となっている点が共通した傾向。

～30代は、「住宅の規模・価格などの住宅事情が良い」「実家の近所」が上位にあがる。

40代～は、「交通の利便性が良い」「住宅の規模・価格などの住宅事情が良い」があがる。

※令和6年9月以前の年代の回答がなかった回答分は対象外

◆年代別転入理由（複数回答可）



アンケート結果⑦（転入理由—地域別）

地域別にみると全体で最上位にあがった「職場や学校が近い」が上位理由となっている点が共通した傾向。

北部・中部等の市街地においては、「電車やバス、道路などの交通利便性が良い」「実家の近所」が上位にあがる。

南部については、「住宅の規模・価格などの住宅事情が良い」ことが最上位にあがっているほか、「自然、街並みなどの環境が良い」との回答数が多いことも特徴的。

◆地域別転入理由（複数回答可）

<北部>

<中部>

<南部>

